

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成19年 4月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成19年4月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成19年6月4日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日	連続測定(1)		連続測定(1)	
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者		焼却炉運転委託業者	
検査項目				
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	5.8	9.6	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	32	休炉中	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	60	56	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	10	9	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成19年4月20日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	7.5	7.6	6.5 以上 8.5 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.0	0.9	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1	11	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	9.4	10.7	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	490	1,700	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.0	3.9	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.62	1.2	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	37	20	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

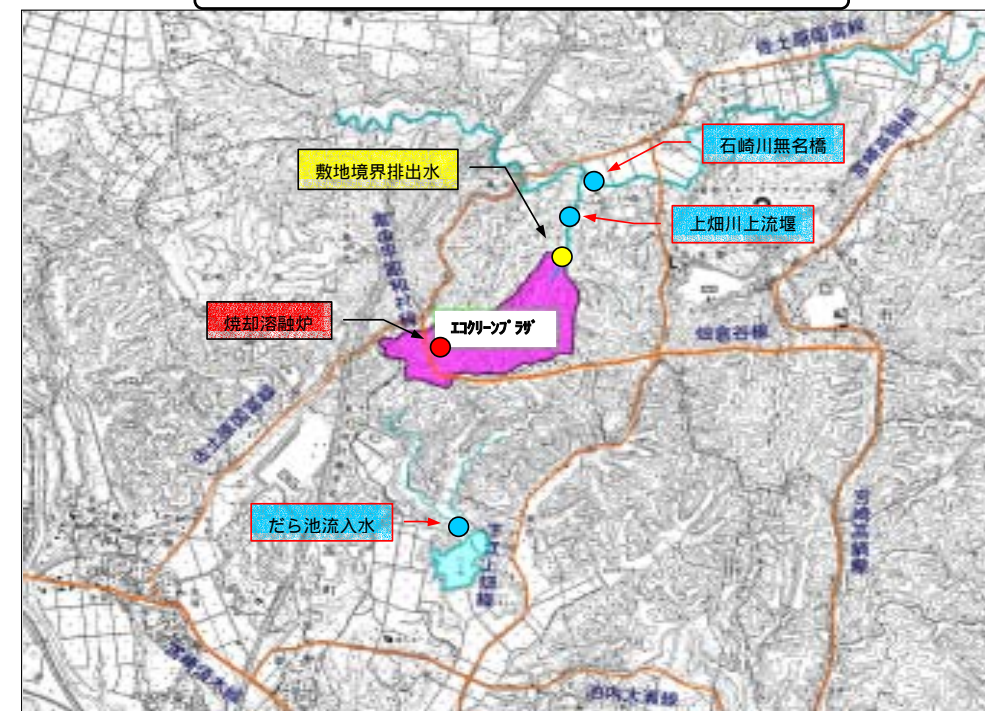
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成19年4月20日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	160(日間平均120)mg/L以下	
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	200(日間平均150)mg/L以下	
04. 大腸菌群数	個/cm ³	79	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.8	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.84	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	41	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	評価基準値内	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



防災調整池排水(敷地境界)



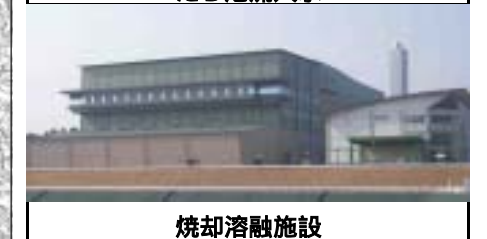
上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水



焼却溶融施設

(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成19年 5月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成19年5月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成19年7月11日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	平成19年5月2日	平成19年5月15日	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	宮崎県環境科学協会	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	61	62	53	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	5	6	6	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成19年5月17日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	7.6	8.9	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.2	1.5	5.9	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	2	13	20	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	7.4	8.6	10	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	790	9,200	2,300	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.4	4.9	12	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.64	2.1	1.4	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	36	18	17	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	80	51	30	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

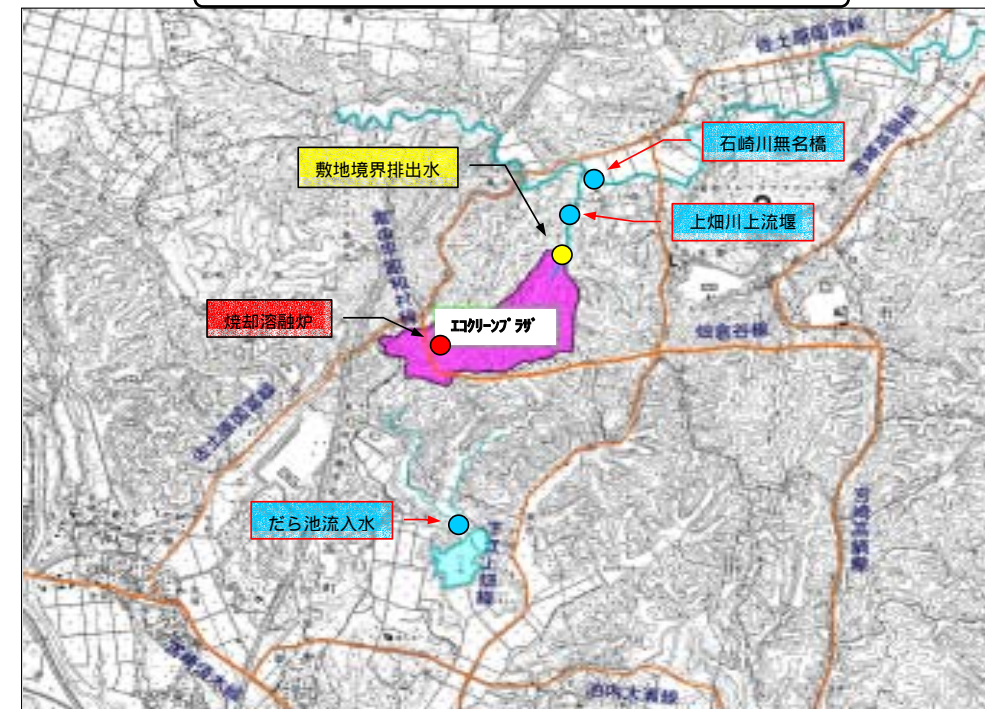
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成19年5月17日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.4	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	10	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.1	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.62	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	39	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	71	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



防災調整池排水(敷地境界)



石崎川無名橋



だら池流入水



焼却溶融施設

(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成19年 6月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成19年6月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成19年7月30日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日		連続測定(1)	同左		
試料採取・分析者		焼却炉運転委託業者	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下	
02. 硫酸化物	ppm	7.5	7.4	50 ppm以下	
03. 塩化水素	ppm	休炉中	28	30	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm		56	53	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm		8	8	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下	

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成19年6月20日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	7.5	7.6	9.3	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.5	0.7	10	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	12	12	22	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	7.6	8.7	12	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	7,900	24,000	7,900	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	3.5	2.6	18	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.69	2.1	1.7	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	27	18	15	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	35	51	15	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

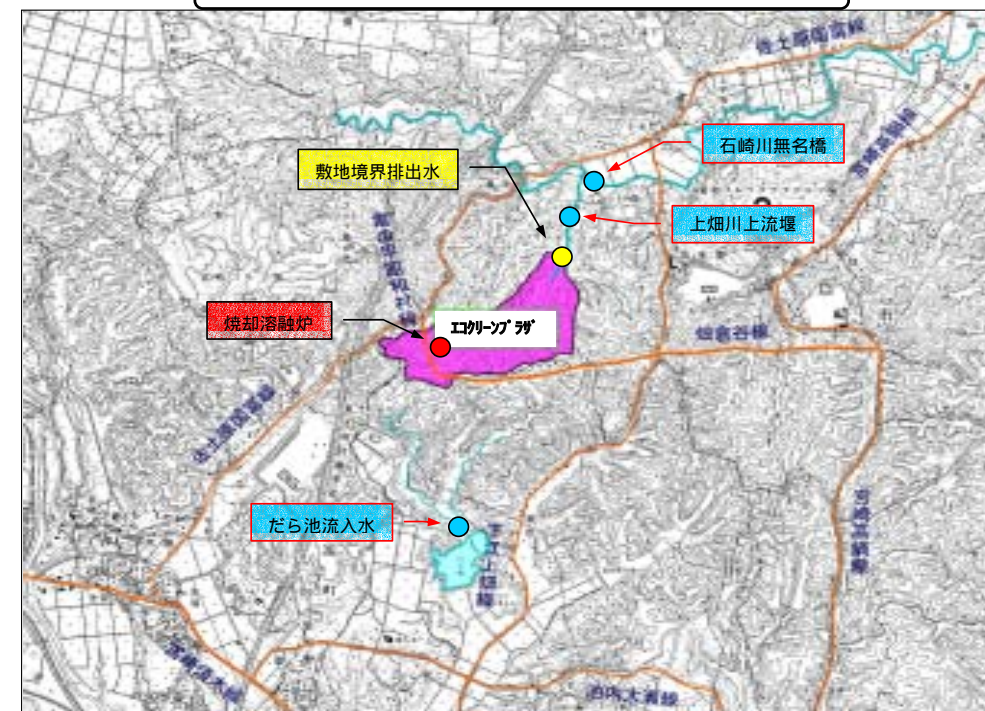
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成19年6月20日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.4	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	18	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	31	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	4.6	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.74	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	31	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	27	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



防災調整池排水(敷地境界)



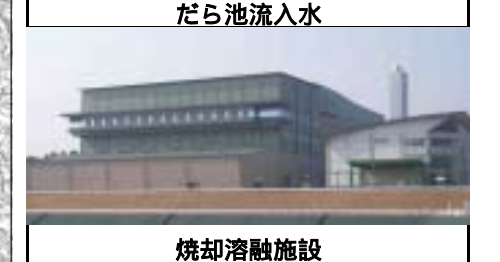
上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水



焼却溶融施設

(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成19年 7月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成19年7月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成19年8月16日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	平成19年7月9日	同左	平成19年7月10日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	53	70	86	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	1	3	3	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成19年7月18日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	7.5	7.5	7.5	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.6	0.9	3 mg/L以下 (だら池は2mg)	
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	6	13	25 mg/L以下	
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	7.3	8.2	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)	
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	4,900	17,000	92,000 5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)	
06. 化学的酸素要求量	mg/L	3.6	2.5	4.7 (参考値 mg/L)	
07. 全窒素	mg/L	0.75	4.8	0.85 (参考値 mg/L)	
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	27	16	21 (参考値 mS/m)	
09. 透視度	cm	80	53	65 (参考値 cm)	
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

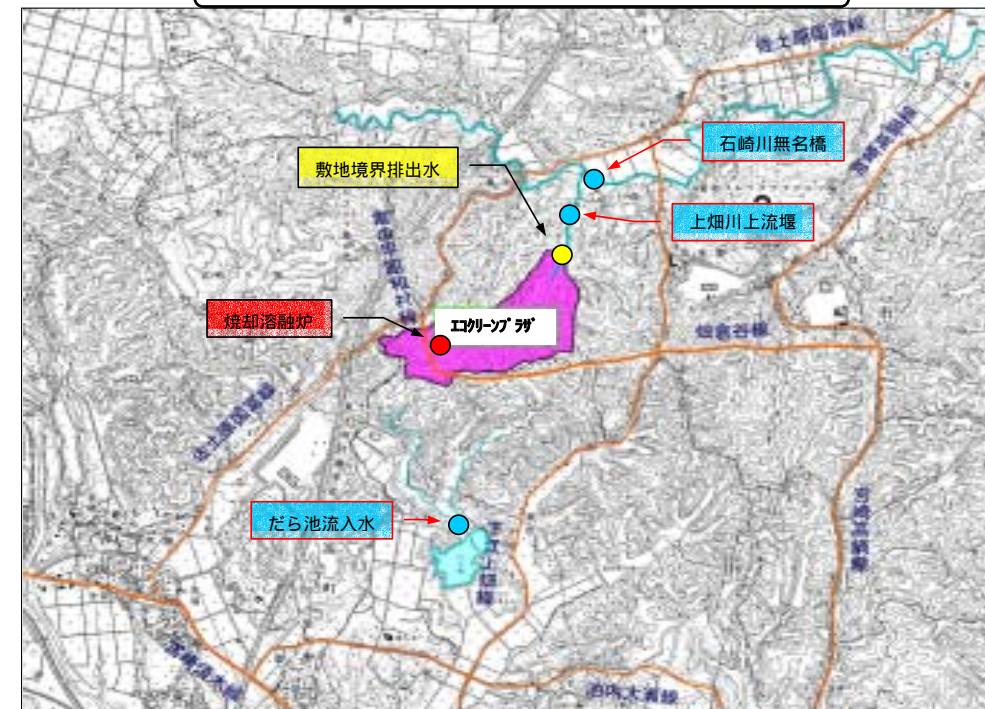
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成19年7月18日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.2	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	7	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	4.0	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.78	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	32	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	82	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	測定月でない	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成19年 8月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成19年8月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成19年 9月 28日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	連続測定(1)	同左	同左		
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者	同左	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	5.6	5.6	5.7	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	25	32	30	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	48	57	54	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	5	9	7	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成19年8月21日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	7.7	8.2	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.5未満	0.7	1.3	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1	4	36	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	6.9	7.9	10	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	17,000	54,000	54,000	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	3.6	2.7	6.3	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.54	2.8	0.81	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	33	18	30	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	80	20	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

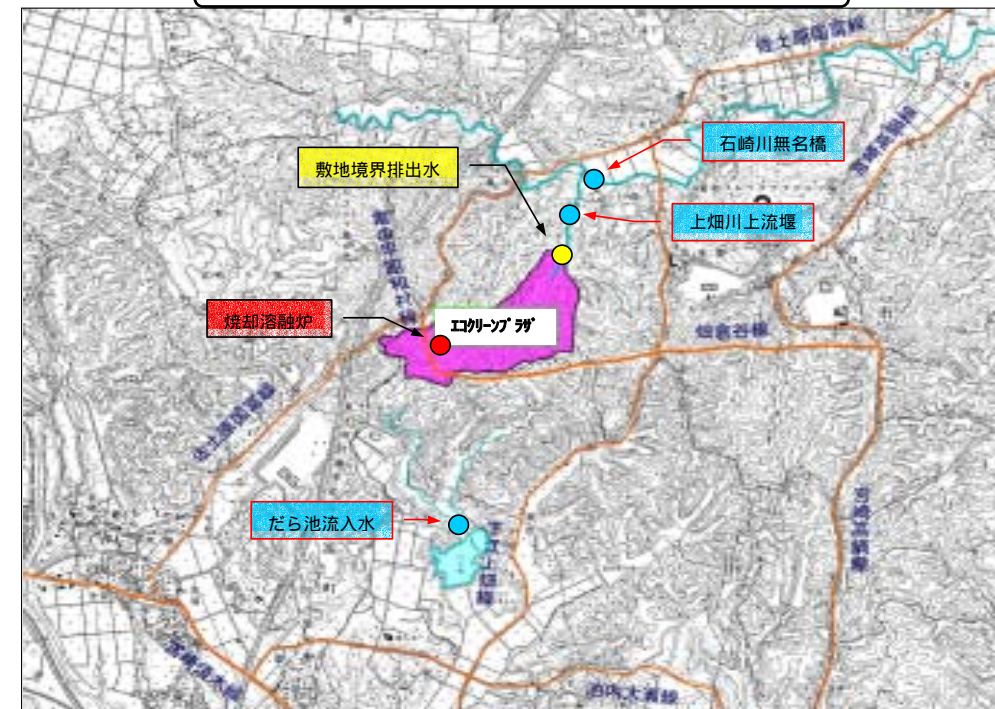
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成19年8月21日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.0	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	4	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	4.7	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.54	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	40	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	評価基準値内	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



防災調整池排水(敷地境界)



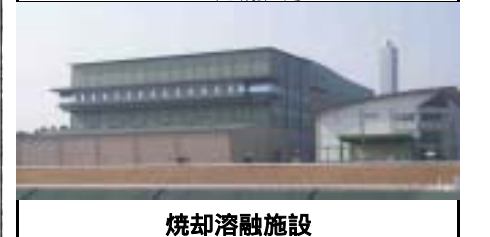
上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水



焼却溶融施設

(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成19年 9月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成19年9月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成19年10月31日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日		平成19年9月11日	同左	
試料採取・分析者		宮崎県環境科学協会	同左	
検査項目				
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	休炉中	32	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	60	48	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	2	3	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

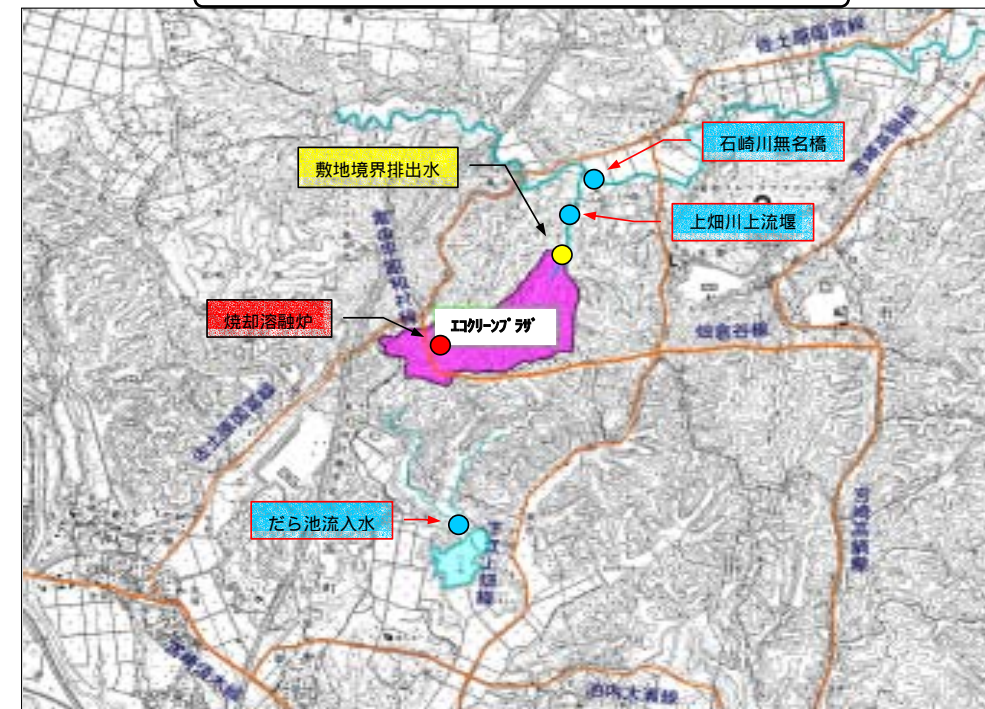
排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成19年9月18日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.6	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	8	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.0	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.66	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	28	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	65	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	測定月でない	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成19年9月18日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度(pH)	7.5	7.5	7.5	6.5 以上 8.5 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.5未満	0.5未満	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	3	7	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	6.9	8.0	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	13,000	35,000	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	3.7	3.3	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.71	2.7	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	22	18	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	95	62	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



防災調整池排水(敷地境界)



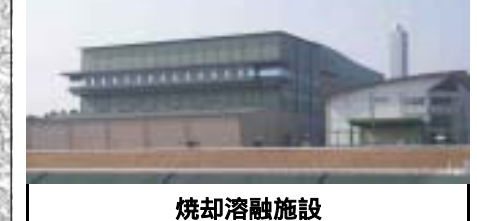
上畑川上流堰



石崎川無名橋



だら池流入水



焼却溶融施設

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目
4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目
6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いてあります。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成19年 10月調査分）

（財）宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成19年10月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成19年12月10日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	平成19年10月29日	連続測定(1)	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	焼却炉運転委託業者	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	39	56	55	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	4	8	6	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	分析中	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成19年10月17日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	7.8	8.2	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.5未満	0.5未満	0.8	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	1	10	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	7.3	9.4	11	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	7,900	54,000	24,000	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.0	2.7	6.2	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.52	3.1	0.99	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	35	20	37	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	75	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	分析中	分析中	分析中	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

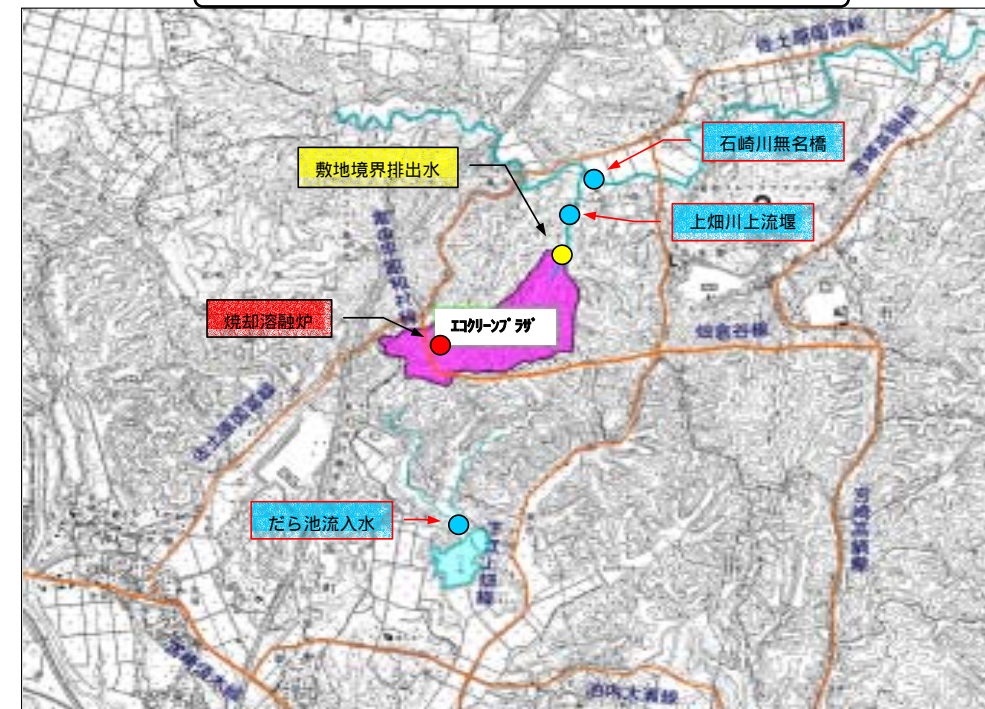
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成19年10月17日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8		5.8 以上 8.6 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.9	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	3	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	4.7	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.60	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	42	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	測定月でない	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成19年 11月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成19年11月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年1月31日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	平成19年11月12日	平成19年11月13日	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	宮崎県環境科学協会	同左		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	12	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	49	50	49	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	4	4	4	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成19年11月21日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	7.9	8.3	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.5未満	0.6	0.9	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	3	3	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	9.3	10	12	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	1,300	2,300	1,300	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	3.2	2.4	4.6	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.45	2.5	1.1	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	34	24	41	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	100以上	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

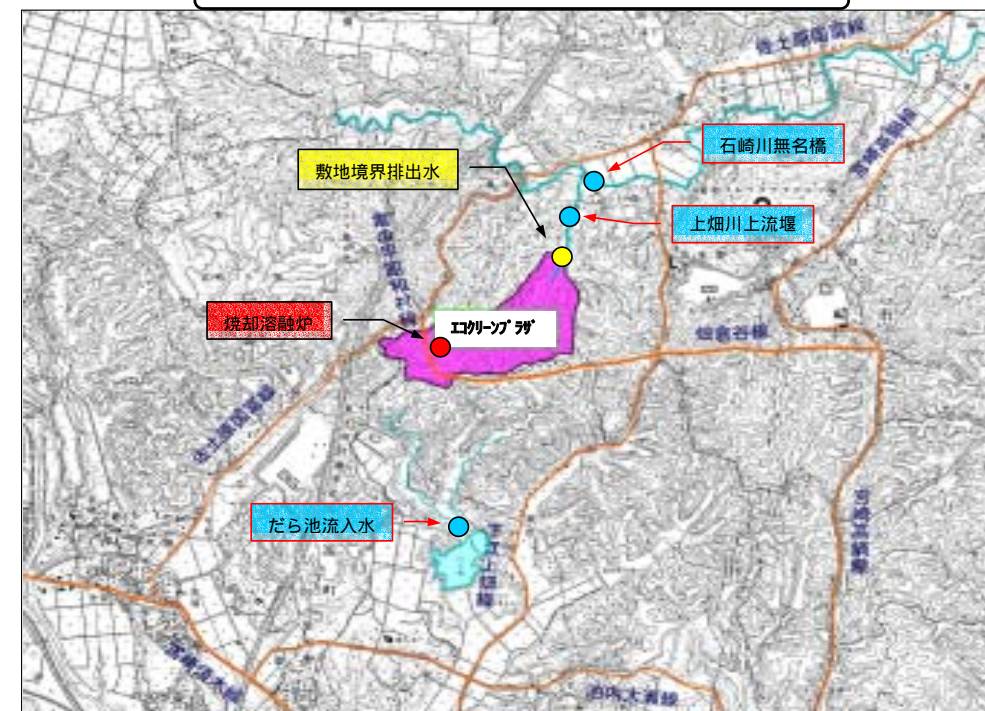
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成19年11月21日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.9	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.6	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	5	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	4.2	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.48	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	42	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成19年 12月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成19年12月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年2月19日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日	連続測定(1)	同左	同左	
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者	同左	同左	
検査項目				
01. ばいじん	g/m ³ N 0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm 10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm 30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm 54	44	56	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm 9	10	10	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N 測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成19年12月12日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度(pH)	7.6	7.7	8.1	6.5 以上 8.5 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L 0.8	1.1	4.8	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L 1未満	8	3	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L 8.9	10	11	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml 1,700	24,000	2,300	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L 3.6	4.4	5.7	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L 0.87	1.6	0.99	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m 32	21	34	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm 100以上	83	100以上	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L 測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

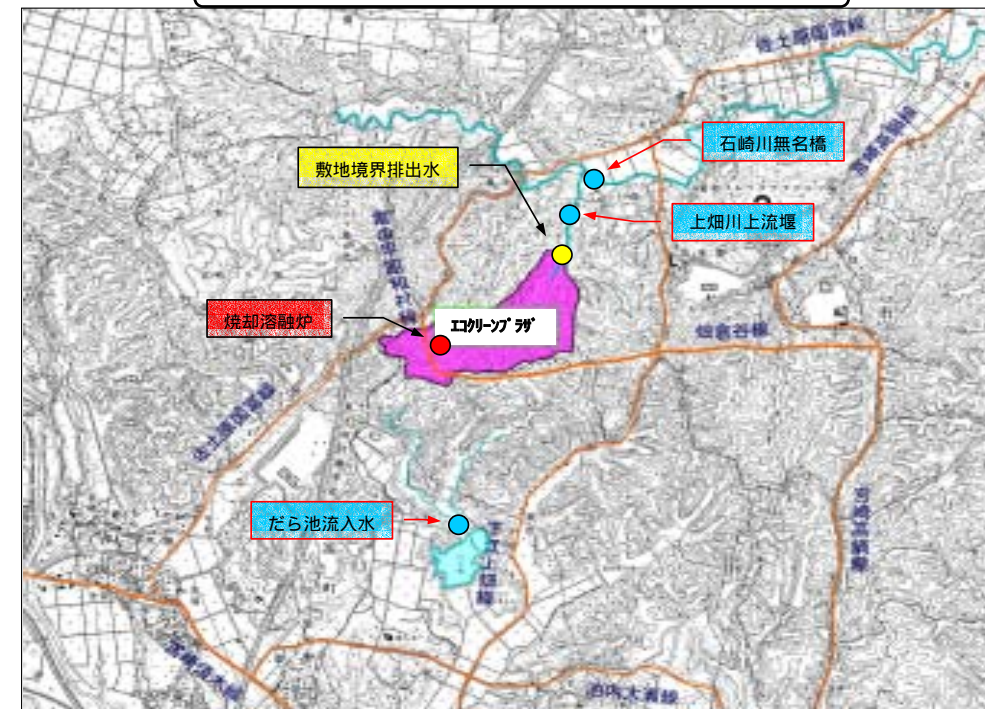
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成19年12月19日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	8.0		5.8 以上 8.6 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L 0.6		160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L 1未満		200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³ 30未満		日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L 4.2		(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L 0.63		(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m 38		(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm 100以上		(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	測定月でない		項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	測定月でない		項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L 測定月でない		10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



焼却溶融施設

(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成20年 1月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成20年1月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年3月21日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日	平成20年1月17日		平成20年1月17日	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		宮崎県環境科学協会	
検査項目				
01. ばいじん	g/m ³ N 0.001未満		0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm 10未満		10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm 34	休炉中	38	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm 49		49	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm 2		1	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N 測定月でない		分析中	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成20年1月16日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度(pH)	7.9	8.0	8.2	6.5 以上 8.5 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L 0.5	0.6	0.9	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L 1未満	2	2	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L 10	11	12	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml 780	1,700	1,300	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L 3.4	2.5	4.2	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L 0.85	1.6	0.75	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m 37	24	39	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm 100以上	100以上	100以上	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L 測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

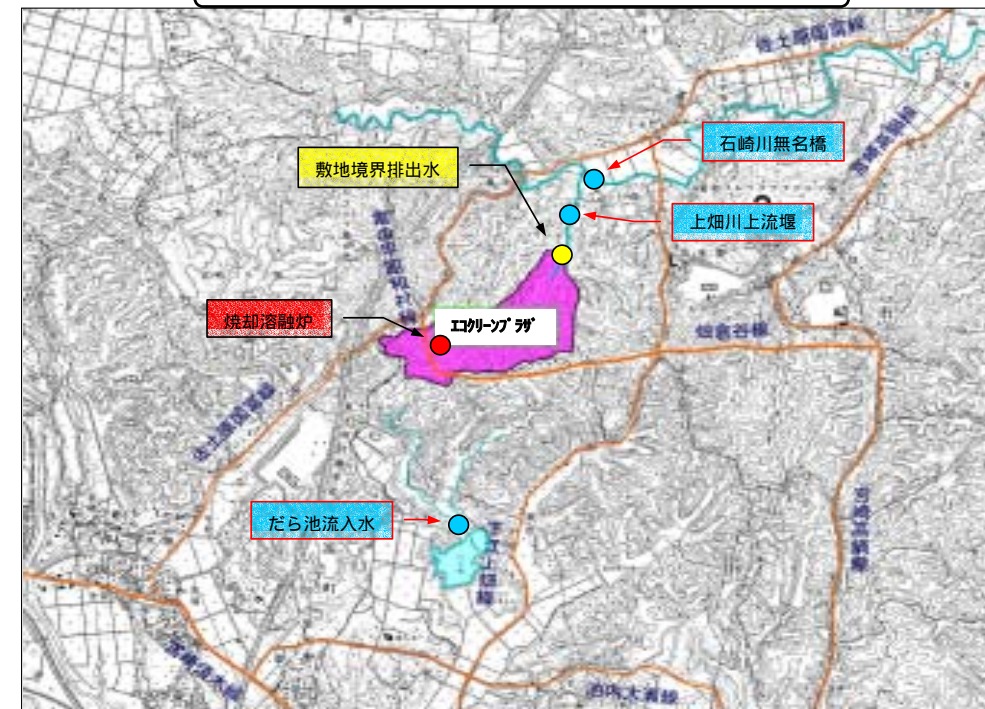
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水		評価基準
試料採取日	平成20年1月16日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	8.1		5.8 以上 8.6 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L 2.1		160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L 2		200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³ 0		日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L 3.3		(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L 0.99		(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m 41		(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm 100以上		(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm 測定月でない		項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L 測定月でない		項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L 測定月でない		10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成20年 2月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成20年2月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年4月22日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	連続測定(1)	平成20年2月25日	連続測定(1)		
試料採取・分析者	焼却炉運転委託業者	宮崎県環境科学協会	焼却炉運転委託業者		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	33	36	19	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	58	52	33	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	8	1	6	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	分析中	分析中	分析中	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成20年2月19日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	8.1	7.9	8.0	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	0.7	0.8	0.5未満	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	1	6	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	11	12	13	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	130	330	110	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	3.1	2.0	4.4	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.76	2.2	0.86	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	40	26	42	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	100以上	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	評価基準値内	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

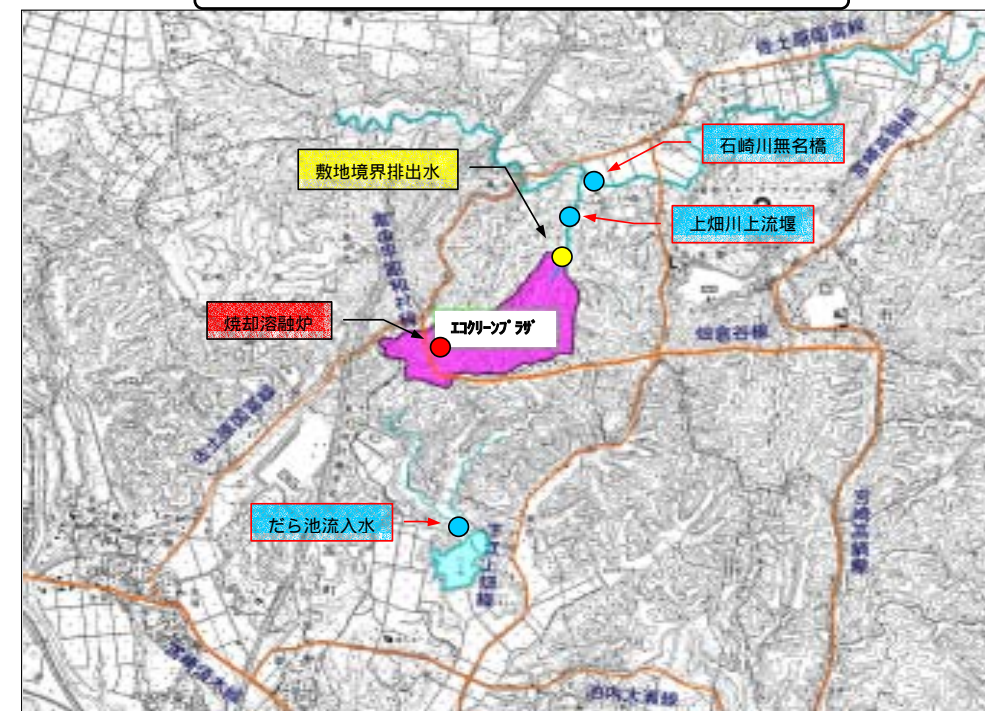
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成20年2月19日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	8.8	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	1.7	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	2	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	4.0	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.94	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	46	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	評価基準値内	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	評価基準値内	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



(特記事項)

過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いております。
敷地境界排水のpH値が評価基準をわずかに上回りましたが、過去平成18年2月、平成19年2月にも数値が一時的に高くなっており、季節変動による自然由来の炭酸同化作用によるもので環境への影響はないものと考えています。

エコクリーンプラザみやざき 排出源及び環境モニタリング調査結果について（平成20年 3月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、公害防止協定書に基づいて、エコクリーンプラザみやざきの焼却溶融施設から発生する排ガスや敷地境界の排水水検査など、排出源における公害防止などを目的に、「排出源等モニタリング」と、周辺地域における河川水質の検査などの「環境モニタリング」を定期的に行っています。平成20年3月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成20年5月22日
宮崎県環境整備公社

排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	平成20年3月4日	同左	連続測定(1)		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	焼却炉運転委託業者		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	33	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	51	53	51	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	1	1	7	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	分析中	分析中	分析中	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

1: 連続測定とは、計器分析による連続監視を示し、検査結果は月平均値を表しています。

環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準	
試料採取日	平成20年3月12日	同左	同左		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左		
検査項目					
01. 水素イオン濃度(pH)	8.9	7.9	8.0	6.5 以上 8.5 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	2.7	1.2	1.6	3 mg/L以下 (だら池は2mg)
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	1	4	5	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	9.5	11	12	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg)
05. 大腸菌群数	MPN/100ml	790	1,700	2,200	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPM)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.5	3.6	5.5	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	mg/L	0.96	1.5	0.94	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導度(EC)	mS/m	38	27	46	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	100以上	84	(参考値 cm)
10~18. カドミウム等(3)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
19~37. PCB等(4)	mg/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
38. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

3: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目

4: 検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など19項目

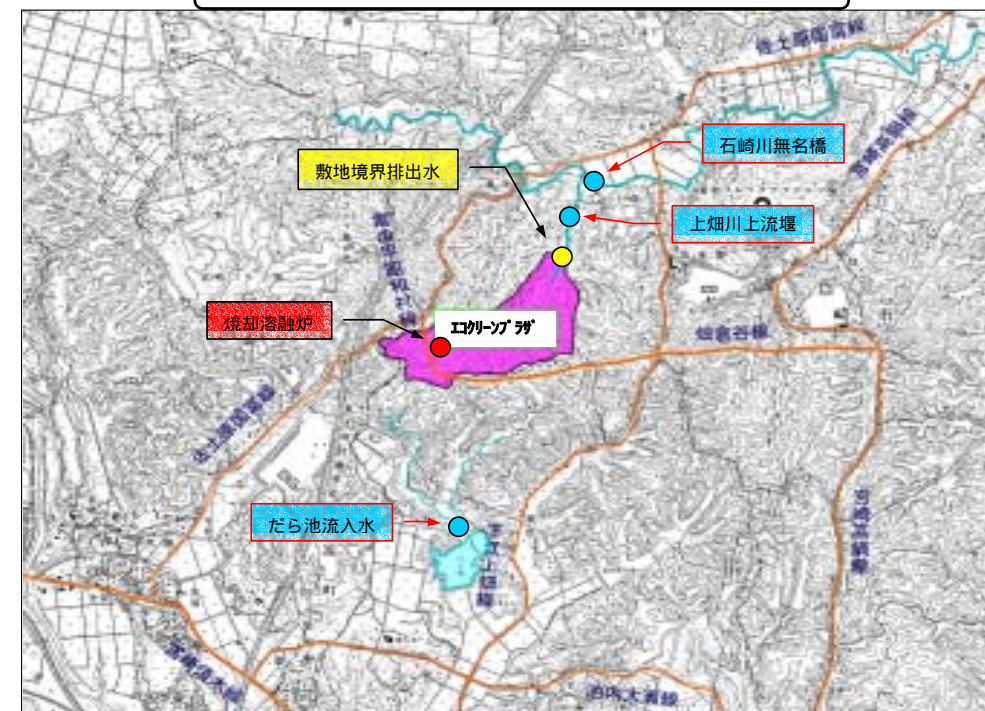
5: 検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など19項目

6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成20年3月12日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	9.4	5.8 以上 8.6 以下	
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	4.0	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	mg/L	2	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	0	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 化学的酸素要求量	mg/L	5.8	(参考値 mg/L)
06. 全窒素	mg/L	0.89	(参考値 mg/L)
07. 電気伝導度(EC)	mS/m	41	(参考値 mS/m)
08. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
09~27. 鉱物油等(5)	cm	測定月でない	項目により個別に設定
28~43. PCB等(6)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
44. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	分析中	10 pg-TEQ/L以下

排出源等及び環境モニタリング調査地点図



(特記事項)

過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いています。
敷地境界排水、上畑川上流堰のpH値が評価基準値を上回っていますが、季節変動による自然由来の炭酸同化作用によるもので環境への影響はないものと考えています。